令和８年度第４回丹波篠山市総合教育会議　議事録

１　日　時

令和 8 年 9 月 30 日（水）　17 時 00 分～17 時 20 分

２　場　所

丹波篠山市役所第 2 庁舎 3 階 2-301,302 会議室

３　会議に出席した構成員

市　　長	酒井　隆明	
教育委員会		
教 育 長	丹後　政俊	
教育委員	西田　正志	
教育委員	倉　真智子	
教育委員	吉川　陽子	
教育委員	遠山　雅治	

４　事務局出席者

学校教育部	部　長	河南　剛
こども未来部	部　長	中野　悟
社会教育部	部　長	岸野　良広
学校教育部	次　長	小嶋　拓也
学校教育課	課　長	石井　健一
社会教育課	課　長	辻川　貴志
教育総務課	課　長	山内　俊秀
教育総務課	副課長	近成　和泉

５　次第及び協議事項

別紙のとおり

	1　開会 2　協議事項 （１）部活動の地域展開について ＜主な質疑応答＞
酒井市長	昨日、篠山東中学校のＰＴＡ会長から中学校部活動の地域移行に関する要望書が提出されて、私と教育長、学校教育部次長、社会教育課長で対応し、受け取った。要望は、部活動で今私たちが議論していることについて、保護者の意見やいろんな意見を広く聞く場として協議会のようなものを設けて、そこで保護者や関係者の意見を聞きながら議論を進めてほしいというものであった。私としては、この総合教育会議で協議していけばという気持ちもあったが、確かに関係者の意見が非常に分かりにくいことがある。これまでから丹波篠山市では、大切なことは関係者に集まっていただき、会議を開いて決めていっている。最近では、城東のこども園や幼稚園の統合についてもそのような形で進めてきたので、確かに協議会を設けて、関係者も入っていただいた上で、関係者の声をいろいろ聞きながら決めていくのが一番よいと考える。部活動の今後の協議については、この方向で検討をしていきたいと思う。ついては、この総合教育会議をどうするかということであるが、そこでの議論を見ながら、総合教育会議でも協議してもらえたらと思う。前回、会議を傍聴された方は、私と学校教育部次長が口論しているように聞こえたようである。保護者、学校の先生、校長先生それぞれの意見があると思うので、そういった方に入っていただいた上で、立場を超えて、よりよい形を求めていくのがやはりよいのではないかと思うので、その議論を基に総合教育会議で協議したいと思う。私も退任すると言っており、私の任期中にはとても解決できる問題ではなく、時間をかけながらやっていくしかないと思うので、教育委員さんには今後ともよろしくお願いしたい。教育長も私と一緒に退任するので、来年度は新しい体制を築いていただく中できっちりと議論をしていける体制だけはつくっておきたいと思う。 私が作成した「かけがえのない部活動を未来につなぐ」の資料は、これまでこの総合教育会議で議論したことを一部抜粋している。子どもたちの成長にとって、部活動は大変大切なものであって、今後ともその充実について市を挙げて取り組もうというのが、これまで決めていたことである。 2 番は今後どのようにこれを未来につなぐかということで、地域だけで見ていくのか、地域とともに学校も一定の役割を果たしていくのかということになっていくと思う。これまでの議論を整理すると、休日は地域クラブに移行するということで進めているが、平日をどのように考えていくの

	か。丹波篠山市では平日まで地域クラブで受け入れる体制づくりは極めて困難な状況である中、当面は平日は学校で先生に見ていただくとしても、いつまでも続いてはいかない。部活動指導員の配置を検討しているが、学校部活動として位置付けるのか、地域クラブの一員として指導していただくのかが、今後の論点となっている。 　また、学校の先生方の8割は部活動を負担に思っておられるとしても、2割の先生方は部活動に意欲を持たれていると聞いている中、その方をどのように活用していったら良いのか。また、市の中心部だけを部活動の場所とするのではなくて、できるだけ今の学校で部活動をしたいというのが保護者の思いとして述べられている中、生徒、保護者、先生方、校長先生の声などを集めて、慎重に話し合っていく必要がある。あわせて、他市の状況も見極めながら考えていく必要がある。 　これが今までの議論をまとめたものであるが、この上で、せっかくここまで皆さんに考えていただいてきたので、私としては、総括的な御意見があれば聞かせていただき、取りまとめができればと思っているが、今日すぐには無理だと思うので、書面で出していただき、それをできるだけ集約したいと思う。
西田委員	いつ頃までに書面で出したらよいのか。
酒井市長	10月半ばである。全体的な方向性ぐらいしかまとめられないとは思う。 　あとは協議会を設けるように提案していきたいと思うが、ただこれも議会の議決がなければ、費用弁償的なことができないので、10月29日の議会で提案できるようにしていきたいと思う。そうすれば、この協議会は11月頃から始められることになると思う。ただ、協議会を立ち上げても、なかなか時間がかかるとは思っている。
西田委員	費用弁償の予算の補正をするということは、協議会の規則も作る必要があると思うが、事務はどこが担うのか。
酒井市長	教育総務課、学校教育課、社会教育課、それと市長部局の総務課と思っている。
遠山委員	協議会が立ち上がって、結論が出たら、来年の春から実施となってくるのか。
酒井市長	早急に結論が出るものではないと考えている。
遠山委員	平日は学校で部活動をやっている生徒たちについて、結論が出るまでの期間はどういう状況になるのか。
酒井市長	今の状況が続いていくことになる。今の部活動をちゃんと守っていく。より良い形が決まるまでは、いきなりなくなることはない。土日は地域クラブで、平日は地域展開していないほとんどの部活動は、当面は学校部活動になる。
西田委員	国は一定の目途として令和13年度と示していることから、どの市町もそれに向けてどうしていくかを考えているわけである。

遠山委員	その中で、特に平日の在り方や運営の仕方について考えているのか。
西田委員	どこも同じような問題で悩んでいると思う。
丹後教育長	昨日、篠山東中学校ＰＴＡの方から要望を受けた。地域の方や学校関係者も含めて、いろいろな現場の人の意見を聞いてやっていくことは非常に大事なことだと思うので、そのように進めていきたい。 また、この要望書に他の自治体の取組状況の調査、検証について述べられており、多可町のことを言われていたので尋ねてみた。多可町は今年から休日も平日も部活動の地域展開をされており、4 月から三つの中学校が多可中学校に統合され、一か所でやっている中、一番の課題は送迎であると言われていた。遠い生徒は路線バスで通学しており、帰りは 5 時半頃のバスに間に合うように心がけているが、できない場合は保護者に送迎をお願いすることが多いとのことである。また、月 3,000 円の会費では足りず、別途、年に 5,000～ 6,000 円追加される負担が重い中、それをどう支援していくのかが課題となっていると言われていた。もっと他の事例も聞いて進めていきたいと思う。
酒井市長	どこも取組を始めたところであり、良いところもあれば、問題が出てきたりする中で、それを見極めながら慎重に検討していかなければいけないと思う。教育委員には引き続き丹波篠山らしい部活動となるようによろしくお願いする。 それでは、こういった方向性を出せればということがあれば、10 月 15 日頃までに書面で提出いただきたい。取りまとめが困難となれば、残念であるが仕方ないと思う。そういうことで、よろしくお願いしたい。
丹後教育長	課題はいろいろあるが、子どもたちにとってかけがえのないスポーツ・文化活動の学びの場であるので、時代の変化も含めてどう続けていけるのかを考えていかないといけないと思う。これからも、いろんな情報を集めながら進めていきたい。